

中田喜直 作曲家。「夏の思い出」「雪のふるまを」など、詩と一体の傑作を多数遺したが、晩年は禁煙など社会的憤懣爆発。

なかたよしなお

関東大震災・1923 = 渋谷区景丘町(恵比寿)で、代々会津藩の鉄砲頭を務めてきた家の末裔で「早春賦」作曲とオルガン演奏で知られる作曲家中田章の三男に生まれる。母はこうは日本画家奥村土牛の従姉。

海軍軍縮条約1930 = 7歳：渋谷区立加計塚小学校に入学。

満州事変・1931 = 8歳：父が死去

五一五事件・1932 = **9歳**：

国際連盟脱退1933 = 10歳：千代田区立番町小学校に転入、音楽の先生が父の弟子という幸運で、「早くも露風の「静かな日」に作曲。

芥川直木賞始1935 = 12歳：西条八十の「怪我」に作曲するが、映画「別れの曲」を観てショパンに夢中になりピアニストを志す。

二二六事件・1936 = 13歳：卒業。第一志望の府立一中が不合格だったため、青山学院中等部に入学。

日中戦争始・1937 = 14歳：

ミッションスクールとしての毎日礼拝で讃美歌のピアノ伴奏したり、また、足しげく映画館に通って映画音楽に触れ、可愛がってくれた数学教師からレコード聞かされ楽譜を貰うなど、貴重な体験して、

大政翼賛会・1940 = 17歳：四年を修了し、「東京音楽学校本科器楽科(ピアノ専攻)に入学。

日米開戦・1941 = **18歳**：

憧れのシャンソン歌手石井好子から伴奏依頼されて緊張、音楽科学生から伴奏を頼まれたのも役立ち、手が小さかったため、ピアニストを諦めて作曲家を志すが、**戦争のため、繰上げ卒業し、宇都宮陸軍飛行学校入校。**

創価学会検挙1943 = 20歳：

年金+総武装1944 = 21歳：

敗戦・1945 = 22歳：

新憲法公布・1946 = 23歳：

新憲法施行・1947 = 24歳：

卒業し、陸軍少尉に任官。重爆撃機のパイロットとしてフィリピン・マニラへ。一時帰国し群馬県新田飛行場で待機中、自宅全焼し、母弟が避難。**敗戦で復員し、若手(新声会)に入会。**{新声会}第3回試演会で初めて作曲したピアノ曲「バラード一番」を自演。招かれて鶴岡に行き、以後親交。兄一家が三鷹に建てた新居に、母弟とともに居候。新声会第5回試演会で***三好達治「磔の上」作曲中、突如靈感受け、川端康成に絶賛された代表作「六つの子供の歌」ははじめ、次々創作、ピアノ伴奏の活動も始め、**

極東裁判判決・1948 = 25歳：

三大事件・1949 = 26歳：

朝鮮戦争始・1950 = **27歳**：

独立回復・1951 = 28歳：

第一回作品発表会兼ピアノ・リサイタルを開き、日本音楽コンクール作曲部門で「ピアノ・ソナタ」第2位。新声会が第1回毎日音楽賞。「夏の思い出」作曲、NHKから放送劇等の音楽の委嘱が増え始めるなど、飛躍する。結婚。***民間放送開始と共に、同じく多くの委嘱を受ける。「かわいいかくれんぼ」作曲して、詩人サトウハチローに気に入られ、以降、二人のコンビによる童謡は100曲以上にのぼる。「雪の降る街を」を作曲。**

メデー事件・1952 = 29歳：

TV放送始・1953 = 30歳：

自衛隊発足・1954 = 31歳：

55年体制始・1955 = 32歳：

なべ底不況・1957 = 34歳：

イタリヤ・1958 = 35歳：

美智子妃・1959 = **36歳**：

安保闘争・1960 = 37歳：

武蔵野市御殿山に自宅を新築。フェリス女学院短期大学専任講師(音楽理論担当)に就任。離婚。フェリス女学院短期大学助教授(実用和声学担当)に昇任。同志5人で{ろばの会}結成し、新しい芸術的なこどもの歌を作る運動を始める。歌曲集出版記念演奏会。中川喜直作品演奏会。車内流れるBGMに怒り爆発し"東横線事件"起す。{ろばの会}が作曲したレコード「チュウちゃん動物園へいったお話」が文部省芸術賞。この頃には、スキーにも熱中し始め、苗場のマンションを購入するほどに。2年前にフェリスを卒業していた中島幸子と再婚。伊藤京子歌う**「六つの子供の歌」**他が**芸術祭奨励賞。アルバム「ゆうらんバス」がレコード大賞童謡賞。**

タイタイ病始・1961 = 38歳：

全国総合計画1962 = 39歳：

TV宇宙中継始1963 = 40歳：

東京初ビッパ1964 = 41歳：

大学紛争始・1965 = 42歳：

いざなぎ景気1966 = 43歳：

美濃部都知事1967 = 44歳：

電ケ関ビル・1968 = **45歳**：

全共闘ビーク1969 = 46歳：

大阪万博・1970 = 47歳：

ドルショック・1971 = 48歳：

日中国交回復1972 = 49歳：

石油ショック1973 = 50歳：

ケラップール事件1975 = 52歳：

JALハイジャック・1977 = **54歳**：

成田衝突・1978 = 55歳：

革新大敗北・1979 = 56歳：

貿易摩擦問題1980 = 57歳：

・1981 = 58歳：

中曽根内閣・1982 = 59歳：

ドイツ・1983 = 60歳：

{ろばの会}作曲のアルバム「東京のうた」が芸術祭奨励賞。日本作曲家協会理事。演奏会開催3回。ポニー・ジャックス***「ちいさい秋みつけた」レコード大賞童謡賞。**御堂会館で演奏会。**「女声合唱組曲「美しい訣れの朝」**で芸術祭奨励賞。フェリス女学院短大教授に昇任。**「混声合唱曲「昇天」**で芸術祭奨励賞。日本音楽著作権協会理事。**「女声合唱組曲「みえないものを」**で芸術祭奨励賞。母が死去。「毒舌的音楽社会学」。**「混声合唱とピアノのための組曲「都会」**で芸術祭奨励賞。**「女声合唱組曲「北の歌」**で芸術祭奨励賞。横浜市旭区へ新築転居。日本童謡協会設立され、理事に就任。**「女声合唱組曲「蝶」**で芸術祭優秀賞。中田喜直**「歌曲全集」**のレコードで芸術祭優秀賞。赤坂にナカガ音楽事務所設立。**「混声合唱組曲「ダムサイト幻想」**芸術祭優秀賞。第1回日本童謡賞功労賞。札幌オリンピック閉会式テーマソング「別れの歌」作曲。イイノホールで3回自主公演開催。**「久留島武彦文化賞。アルバム「こどものうた100曲選集」**で第五回日本童謡賞。横浜文化賞。テレビ朝日番組審議委員。第八回日本童謡賞。第六本木に事務所移転。***「ピアノ・コンペティション審査及び自作品展示のため、渡米。日本童謡協会会長。**{ろばの会}結成25周年記念コンサート。「**「嫌煙の時代」(渡辺文学共著)**を上梓し、禁煙運動に力を入れる。スキー一級を取得。神奈川文化賞。{ろばの会}が第一六回モービル児童文化賞。演奏会を自主公演。反核主張する音楽家たちのリレー・コンサート呼びかけ人の一員で、実践的活動。日本作曲家協議会理事。この間、**「読売新聞投書欄(気流)」の常連客として、また朝日新聞「声」欄にも、社会的意見を盛んに投書。**

バブル始・1986 = **63歳**：この年始まった{鶴岡音楽祭}に以後毎年特別ゲスト。**「紫綬褒章」。**

リクルート事件・1988 = 65歳：神戸山手女子短期大学講師に就任。**「全日空機で北海道に向かう途中、またもBGMに怒り爆発させ事件に。」**

昭和天皇没・1989 = 66歳：自作品コンサートのため、ブルガリアへ。第1回サトウハチロー賞。

ドイツ統一・1990 = 67歳：フェリス女学院大学教授。日本女声合唱団の指導と演奏会出演のため、渡米。

55年体制終・1993 = 70歳：「日本のうた中田喜直を歌おう」演奏会出演のため、ハワイへ。定年で、フェリス女学院大学名誉教授。

自社さ連立・1994 = 71歳：カザルスホールで、歌曲・童謡集出版記念コンサートを自主公演。社会的憤懣を遺書の形で爆発させ、その三分の一をタバコの話にあてた随筆集「音楽と人生」を上梓。

お仏事件・1995 = **72歳**：**「NHK放送文化賞」。**

・1998 = 75歳：

石原都知事・1999 = 76歳：

・2000 = 77歳：

作曲生活50周年記念コンサート「中田喜直の宇宙」を自主公演。体調に異変感じ初入院し、直腸癌手術、再発するも手術成功。ウィーン、ケルンで、シンポジウム・公開講座・コンサート開催。日本音楽著作権協会60周年特別賞。母校番町小学校の開校記念日のため、最後の校歌作曲。好きだった最後のスキーをし、日比谷公会堂でさよならコンサートを開催して{ろばの会}を解散し、**「没した。日本レコード大賞日本作曲家協会功労賞追贈」。**

牛山剛「夏がくれば思い出す」,